

## 「第 28 回萩原朔太郎賞受賞者マーサ・ナカムラ展」 「児童文学作家・木暮正夫展」を開催

### 1 「変な話をしたい。—第 28 回萩原朔太郎賞受賞者マーサ・ナカムラ展」

マーサさんの詩集を開くと、紙面を舞う言葉たちに吸い込まれるように異界へといざなわれ、詩集を閉じるころにはもうすっかり、“異界”に魅了されてしまう。どうしてこのような世界を構築できるのか。史上最年少で朔太郎賞を受賞したマーサ・ナカムラさんが生み出す詩の世界について、“異界”というキーワードをもとに展示紹介します。

#### (1) 展示期間・時間

令和 3 年 2 月 6 日（土）～5 月 30 日（日）

9 時～17 時（入場は 16 時 30 分まで）

#### (2) 会場・観覧料

前橋文学館 2 階展示室（千代田町三丁目 12-10）

一般 400 円（高校生以下、障害者手帳持参の方と介護者 1 名は無料）

#### (3) 展示の見どころ

- ・萩原朔太郎賞受賞作『雨をよぶ灯台』を軸に、著作、雑誌、直筆メモ、同人誌などを紹介します。（展示総数 約 100 点）
- ・1 階ロビーや 2 階会場には、受賞作のモチーフである灯台を出現させます。
- ・関連イベント:オンライン鼎談の様子を前橋文学館公式 YouTube チャンネルで公開等。

### 2 「ひらめきときめきどきどききらり 児童文学作家・木暮正夫展」

木暮正夫氏は、前橋市出身の児童文学作家です。児童文学から社会的な作品や軽妙な作品、郷土群馬の民話や笑い話、ノンフィクションまで幅広いジャンルを手掛けました。創作活動のきっかけとなった高校時代の作品のほか、日本のわらい話・おばけ話シリーズの作品群、他に映画化された、前橋空襲が題材の『時計は生きていた』やアニメの『河童のクゥと夏休み』など、創造性豊かな作品世界を紹介します。

#### (1) 展示期間・時間

令和 3 年 2 月 20 日（土）～6 月 6 日（日）

9 時～17 時（入場は 16 時 30 分まで）

#### (2) 会場・観覧料

前橋文学館 3 階オープンギャラリー（千代田町三丁目 12-10）

無料

#### (3) 展示の見どころ

- ・書籍、イラスト原画、原稿、関連グッズなど、多彩な作品を遊び心に溢れた空間で展示します。（展示総数 約 70 点）
- ・関連イベント 1：アルテナラ前橋との読み聞かせアートイベントの連携企画
- ・関連イベント 2：前橋シネマハウスで上記 2 作品の映画上映会、書籍版『河童のクゥと夏休み』の挿絵担当である、正夫氏の次男でイラストレーターのこぐれけんじろうさんをお招きして、シアタートークを行います。

担 当 文化国際課 文学館  
電 話 027-235-8011